



▲「天草市中学生心の絆宣言」を提案する生徒

## 10年後の天草市について考える

### 天草市子ども議会

8月22日、市内13の中学校から選ばれた26人の“子ども議員”と、安田市長ほか市執行部26人が参加して、「天草市子ども議会」が市議会議場で開かれました。6つのグループに分かれて、“私たちが望む10年後の天草市の姿「心の絆を深める」”をメインテーマに、各グループで設定したまちづくりや福祉に関することなどのテーマに沿って質問と提案を実施。それに対する答弁を市執行部が行いました。

このほか、子ども議員から、いじめや差別などをなくし、信頼し認め合える人間関係づくりを目ざす、「天草市中学生心の絆宣言」が提案され、可決。参加した生徒たちは、真剣な表情で取り組んでいました。



▶質問のため挙手をする生徒



▶天草市子ども議会を終えて記念撮影



▲握手を交わす草村大成・高森町長と安田市長



▲高森町の中心街で牛深ハイヤを踊る市役所牛深ハイヤチーム

## 相互の地域活性化を目指して

### 市と高森町の連携交流事業

市と阿蘇郡高森町では、昨年9月に双方の飲食業者が合同で特産市を開いたことがきっかけで、交流を行っています。4月には、同町の草村大成町長ほか交流団一行が市を訪問し、第42回牛深ハイヤ祭りで高森にわかの披露や道中総踊りに参加し、祭りを盛り上げました。

一方、8月17・18日には、安田市長ほか市役所牛深ハイヤチーム、水産加工業者など交流団一行が、同町で行われているイベント「風鎮祭」に参加。同17日に行われた風鎮総踊りでは、参加者と地元住民ら約500人が「牛深ハイヤ踊り」と「高森音頭」を交互に踊り盛り上がりを見せたほか、牛深の特産品の販売も実施され、



▲特産品の販売のようす

会場は大いににぎわっていました。市では今後も同町との交流を深めることにより、相互の地域活性化に結びつけていきます。

## 御所浦を満喫したよ

### 関東の子どもたちが御所浦へ

8月20日から同22日の2泊3日で、関東地方の小学生51人が御所浦町を訪れました。東京都で理科の実験などの教育を行っている塾が実施したもの。参加した子どもたちは、地引き網や魚さばき、化石採集などを体験。化石をたくさん採集するなど、日ごろできない御所浦ならではの体験を満喫していました。



▲化石採集をする子ども



▲選手宣誓をする親子

## スポーツを通して親子のふれあい

### 親子ソフトボール大会

牛深まちづくり協議会が主催する「第39回親子ソフトボール大会」が9月8日、牛深グラウンドで開催されました。親子や地域のふれあいと体力づくりを目的に実施されているもので、地区ごとに編成された8チーム・約240人が参加。試合は4回までを子どもたちが、その後7回までを親が行い、豪快なホームランに歓声上がるなど、熱戦が繰り広げられました。結果は、須口チームがみごと、優勝しました。